

佳作

## 思い出が並ぶドーチカ

金川 麻衣子様

大好きな人に会えるトキメキを、お気に入りのパンプスが奏でる。北新地駅から南へ真っ直ぐ、恋のキラキラで溢れるドーチカ南詰めまでの道のりや、地下から空へと伸びる階段は、どんなBGMやイルミネーションより眩しい刹那に満ちていて、顔には出さない私の心の彩りを際立たせてくれるものだった。

10年程前の事、甘い恋心を抱いていた相手が、ドーチカで印鑑等を揃えたら福引券をもらったから一緒に引きに行こう、と誘ってくれたことがあった。ガラポンを回すという懐かしさを、心寄せる人と分かち合う一時は本当に嬉しい限りで、しかも飛び出した青い玉のおかげでこれまた懐かしいガチャガチャにも挑戦でき、デジタルカメラを引き当てた。二人で人目も憚らずに感嘆詞を連発した記憶は、今でも色褪せないドーチカの思い出です。

その人との恋は実らなかったものの、今日も西詰めの階段を上る私の足音に、心地良い彩りを散りばめてくれます。